

環境生活課 環境係 ☎(232)2114

飼い主の皆さん、ペットのふんの後始末はきちんとしていますか。  
放し飼いや鳴き声で近所に迷惑を掛けてはいませんか。  
ペットの飼い方について、ご家庭でもう一度考えてみましょう。

犬を飼っている皆さんへ

■ふんを放置しないでください  
最近、人の家の前や公園、畑のあぜなどで、犬のふんが放置されているなどの苦情が届いています。他人の土地や公園、道路は犬のトイレではありません。他人の土地に埋めるのも違法行為です。自宅に持ち帰って処理するか、排便場所をしつけ、散歩時は運動だけに連れ出すように心掛けましょう。

■放し飼いは禁止されています  
放し飼いによって▼犬にかまれた事故などがあれば加害犬と疑われる▼交通事故にあつて負傷することがある▼他の人に迷惑をかける▼他の犬から病気の感染を受けることがある、などが起きる可能性があります。  
■鳴き声によるトラブル  
「近所の犬が夜鳴いて眠れない」「昼間留守の家で犬が一日中鳴いて困っている」などの苦情が届いて

ます。飼い主が思っている以上に迷惑をしている人が多いようです。  
トラブル防止のためには、犬の正しい管理と明るい近所付き合いが大切です。飼い主の管理ミスでトラブルが発生し飼うことができなくなれば、愛犬を死に追いやることもないかねえません。

■散歩のマナー  
① 飼い犬はリードにつなぎましょう  
飼い犬をリードにつなぎず公共の場所を歩くのはマナー違反です。「うちの犬はいい子だから大丈夫」と思っているのは飼い主だけです。放している犬は、道路に飛び出したり、他の犬とケンカしたり、他人に飛びついたりするかもしれません。犬の命を守り他人に迷惑をかけるないようにすることは、飼い主の責任です。



② 犬のふんは持ち帰りましょう

飼い犬が散歩中にしたふんを放置するのはマナー違反です。公園や道路、川土手に犬のふんが落ちていいるのを知らずに踏んだり、草刈りで飛び散ったりして嫌な思いをしている人も多いようです。畑のあぜに放置されることも多く、農作業のときに大変迷惑しています。ふんは飼い主が責任をもって持ち帰り、乾かして「燃やすごみ」に出してください。

③ 犬のオシッコを他人の家の塀や門などにさせないようにしましょう

他人の家の塀や門などにオシッコをさせるのはマナー違反です。犬が散歩中、電柱などにオシッコをしているのは、犬の「マーキング」です。あなたの飼い犬の「マーキング」を、犬の習性だからと野放しにするのはやめ、飼い主が主導権を持った散歩をしましょう。



■飼えなくなっても捨てないで  
子犬が産まれたり、引越などなどで、どうしても犬が飼えなくなった時は、必ず新しい飼い主を探してください。絶対に捨ててはいけません。

猫を飼っている皆さんへ

猫には飼育方法の規定がないため「放し飼いが当然」という風潮がありますが、それゆえ知らないところで悪さをし、迷惑していることが多くあります。次のことに注意して飼育してください。  
・自宅敷地内でふんや尿をする場所をしつける  
・野良猫と区別するために首輪をつける  
・できる限り室内で飼う(放し飼いを極力避ける)  
・自分の飼い猫が悪さ(ふん尿、ごみの散らかし、車に傷をつけるなど)をしたことを知った時、飼い主は速やかに責任を持って対処するために、必要に応じて去勢・避妊手術をする



ペットを飼っている皆さんへ

ペットの置き去りは絶対にしてはなりません。ふん尿やごみの散らかし、農作物などの窃取、大量繁殖や鳴き声などにより、周辺地域の生活環境を大変悪化させます。また、強い力を持った外来種は、生態系を狂わせる原因にもなります。  
自分さえ良ければいいということでは「住みよいまち」にはなりません。マナーを守って、住民がみんな協力し合い、住みよい環境にしましょう。  
※飼育にあたりどうしても困った時は、菊池保健所☎0968(25)4135 へ相談してください。

健康

予防してあげる！高血圧

健康・保険課 保健予防係 ☎(232)4912

「高血圧」は、自覚症状がなく進行していきます。そして命に関わるような重大な病気を引き起こす一因となります。早めに気付く対策をとることが大切です。

高血圧とは

血圧とは、心臓から送り出された血液が血管を流れるときに、血管の壁に与える圧力のことです。その圧力が高いと高血圧となります。

放っておくとどうなるの？

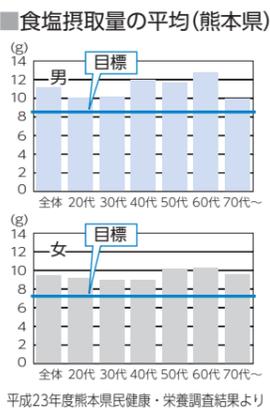
血管に高い圧力がかかっていると、血管が傷んでいきます。しなやかな血管も硬くなり、弾力性がなくなったり破れやすくなったりします。またその傷を治そうと、血管の壁が厚くなり狭くなっていきます。そして動脈硬化を促進し、脳や心臓、腎臓などに障がいをおこしてしまいます。

高血圧を予防するために

高血圧を予防するには、減塩を始めとした食生活の改善や運動、ストレス対策などを心掛けることが大切です。血管に負担を掛ける生活習慣を改善し、高血圧を予防しましょう。

塩分を摂り過ぎていませんか

食塩摂取目標は男性9g、女性7.5g未満です。食塩の平均摂取量は男性11.2g、女性9.6gで、摂り過ぎの人が8割を超えています。



あと2gの減塩に努めましょう

2gの塩分は  
・ しょうゆ 小さじ2分の1弱  
・ しょうゆ 小さじ2杯  
何げなく食べている食品にも多くの食塩が含まれています。

食品の塩分量の目安

たくあん3切 (30%)	梅干し1個 (10%)
1.3g	1.8g
カップラーメン1個 (90%)	牛丼
6.2g	3.0g

減塩すると、かえって塩味を楽しめ、おいしく食事ができます。食品の素材の風味を生かした料理にしましょう。

狂犬病予防注射はお済みですか

犬の登録と毎年1回の狂犬病予防注射が法律で義務付けられています。対象犬は生後91日以上です。病気などの場合は獣医師にご相談ください。未接種の場合は、速やかに接種させましょう。

■菊陽町狂犬病予防注射済票交付事務委託動物病院  
※費用や接種できるかどうかは、事前に各動物病院へ電話でご確認ください。

病院	住所	電話番号
アニマル動物病院	菊陽町武蔵ヶ丘北1丁目10番37号	☎(337)4100
あーす動物病院	菊陽町原水1187番地8	☎(233)0012
荒木動物病院	菊陽町新山2丁目2番16号	☎(292)3088
大塚動物病院	菊陽町津久礼53番地3	☎(232)7254
木村獣医科	菊陽町原水2070番地4	☎(232)2694
さくら動物病院	菊陽町津久礼2179番地2	☎(340)2022
光の森にしぐち動物病院	菊陽町光の森7丁目25番地5	☎(232)8470
池田獣医科	大津町室2118番地5	☎(293)2665
大津動物クリニック	大津町陣内317番地	☎(293)5654
ハーベスト動物病院	大津町室213番地14	☎(292)0500

■問い合わせ 環境生活課 環境係 ☎(232)2114

次の場合は速やかに届け出を

- ・左の動物病院以外で接種したとき
- ・新しく犬を飼いだしたとき
- ・犬が死亡したとき
- ・犬の所有者が変わったとき
- ・犬が転出したとき

